

## 朝鮮労働党第8回大会—熱情的な大会

ロシアのティンダ市チュチェ思想研究協会  
ゲンナジー・アスタホフ

朝鮮労働党第8回大会は参加者の高揚した熱意の下に行われた大会であると誇らしく呼ばれている。

朝鮮労働党の金正恩総書記は閉会の辞で次のように述べている。

「今まで全党的に重要な政治的な集会や大会が数多く開かれ、そのたび党中央の政策と思想に対する参加者の熱意が極めて高く発揮されましたが、今回の第8回党大会のように満場が問題の討議に心酔し熱中する、このような高い参加熱意に接するのは初めてです」

それは朝鮮労働党第8回大会が朝鮮労働党の強化発展と朝鮮式社会主義建設の行路上、極めて重大な時期に行われたからです。

すべての代表者たちの問題の討議水準も高かった。

金正恩総書記は大会の全期間、代表者の皆さんは最大の党的自覚と責任感を持って問題の討議に誠実に参加し、建設的な意見を積極的に提起して意思を一致させながら、活動する党、闘争する党、前進する党としてのわが党の戦闘的面貌を余すところなく示したと述べている。

総書記は全ての代表者がみな一人のように、革命活動の成敗と自分自身や子孫の運命を結び付けて苦心し心配しながら、討議される全ての問題を積極的に真摯に研究し、緊張した大会の活動に積極的に参加したと述べた。

大会の活動にたいする金正恩総書記の高い評価は、朝鮮民主主義人民共和国の永遠な主席であり、民族の慈父である金日成主席の膝下で生まれた朝鮮の数百万の党員と勤労者の共感を呼んでいる。

われわれは遠からず、金日成主席が誕生した太陽節を慶祝するようになる。朝鮮人民は人民を天のごとく信じ、人民に奉仕しなければならないという主席の遺訓を肝に銘じている。

「人民に奉仕する！」これは朝鮮労働党が示したスローガンの一つである。

党は人民大衆の利益と要求を最優先視し、全ての問題を人民大衆の利益と要求に即して解決することを自己の活動の鉄則としている。

日本帝国主義の軍事的占領から国が解放された後（1945年8月15日）、朝鮮労働党は反帝反封建民主主義革命の一環として土地改革を実施し、土地を要求する農民たちの世紀の願いをかなえてやった。その他にも重要産業国有化を実施して労働者たちを工場の主人としておし立てた。男女平等権の法令が發布されたことにより、女性は男性と同

等の権利をもつようになった。

国の経済状況が困難で1 tの鋼材も非常に大事であった時期、労働者たちの生命と健康に有害な原鉄炉を大胆に爆破させた。女性と赤ん坊のために平壤産院を立派に建設した。このような話は感動なしには聞くことのできない話である。

朝鮮労働党は人民の生命を責任をもって見守っている。

党は自己の活動で人民の利益を守り、人民に忠実に奉仕する原則を確実に堅持して人民の絶対的な支持と信頼を受けている。

去る数十年間、党は全般的無料義務教育と無料治療、国家の負担で住宅を建設して人民に無料で供給することをはじめ、人民的施策が変わることなく実施してきた。信じがたいことだが、すでに40余年前にこの国で税金制度が撤廃されたのは事実である。

これは全的に朝鮮労働党の指導者の正しい人民観を離れて考えられない。

金日成主席と金正日総書記は以民為天を座右の銘にしてもっぱら人民の幸福のために献身的に活動し、人民は朝鮮労働党を母なる党と呼んでいる。

いつか、ある外国人が金日成主席に朝鮮では全国の学生少年たちに制服を無料で供給することによって生じる損失はなにで補償しているのかと質問したことがある。そのとき、金日成主席は、人民のためにこうむる国家の「損失」は損失とはいえない、人民の福祉のためにより多くの資金が支出されるほど、わが党はより大きな喜びを感じ、次の世代のためにより大きな「損失」をこうむるほど、国家はより大きな満足を感じるのであると述べた。

また、いつかは、主席に朝鮮の有名な名勝地である妙香山一帯に金が埋蔵されているという報告が提起されたことがあった。

金日成主席はそこに金鉱を建設しようという提議に賛成しなかった。それは祖国の自然の美しさと人民の文化的休憩場に損傷を与えることを絶対に許せなかったからである。

金正日総書記は生前、常に人民のためには損をすることでもしなければならぬとし、人民のためなら打算を先にはしないと述べた。

総書記は国の北部に位置している三水発電所の建設現場を現地指導しながら、建設を進める前に浸水地域の住民に供給する新しい住宅から建設しなければならないと述べた。

「人民に奉仕する！」というスローガンも金正日総書記が提示したものである。

今日、朝鮮労働党の金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記の偉業を立派に継承し、人民のためにすべてを尽くしている。

金正恩総書記のすべての思索と活動は、歴史のあらゆる風波を切り抜けながら、党を忠実に奉じてきた人民が二度と生活に困窮することがなく、人民に社会主義の万福を享受させることに志向されている。総書記は下部から提出されたある書類に人民に奉仕しようという親筆を残した。総書記はしばしばこう述べている。何よりもまず、人民の便利をはかるべきである、人民にあたたかく対しなければならぬ、より多くの人民が

われわれを訪ねてくるようにしなければならない、人民のための仕事では何も惜しんではならない、一度始めたことは「満点のもの」に完成して人民に贈ろう…

一度は総書記が平壤の中心部に位置した倉田通りに新居入りした労働者夫妻の家庭と教育者夫妻の家庭を訪ねた。総書記は彼らの生活状況を具体的に調べながら、彼らと上下を脱いで話を交わした。人民の利益を最優先、絶対化し、党と国家のすべての施策が人民のために実行されなければならない、まさにこれが朝鮮式社会主義制度であると述べた。総書記は彼らとともに記念写真を撮り、生活用品を贈りながら彼らの幸福を祝福した。

総書記は人民の利益を少しでも侵害することを絶対に許さなかった。

総書記はある遊戯場を現地指導しながら、甚だしく手荒い運営実態を見て幹部らに、人民にたいする滅私奉仕の精神に欠けている幹部は党の意図通りに活動することができない、遊戯場は人民が休息する場所であるのに、このようにほったらかしておいて幹部らが良心の呵責も受けず、心を痛めていない、数千数万の幹部がいるとしても人民を大事にしないならば何の助けにもならない、と厳しく指摘した。

今日、金正恩総書記が導く朝鮮労働党は、総書記の人民にたいする崇高な滅私奉仕の精神を具現して「人民に奉仕する！」というスローガンを高くかかげて、人民に一日も早く社会主義の万福を享受させようと全力を尽くしている。

朝鮮労働党の金正恩総書記は朝鮮労働党第8回大会の活動期間に代表者の皆さんが、革命活動の前進と発展のために重い責任感を一緒に抱き、最も正確で最も力強いわれわれの闘争方向と戦略・戦術を確定することに心魂を傾けたことに非常に感動し、そこから大きな力を得たばかりでなく、これをたいへんありがたく思っていると述べた。

金正恩総書記は報告で、党中央委員会は、人民大衆第一主義を党と国家の活動に徹底的に一貫させるための活動を力強く推し進める一方、その実現で障害となるあらゆる反人民的要素を除去する闘争を中断することなく行ったと述べた。

報告は、党中央委員会が人民大衆第一主義を国家の強固な政治風土、党風、国風として定着させるための用意周到な政治攻勢を展開したことについて分析した。

政治・思想陣地を強化するための党中央委員会の活動において特別な意義を持つのは、チュチェの革命偉業の継承期、発展期の要求に即して革命伝統教育をより強く行ったことである。

白頭の革命伝統でしっかり武装し、その偉大な伝統に基づいた不屈の攻撃精神、パルチザン精神をもって難局を打開し、開拓路を切り開く全党的・全社会的な気風を確立したこと、そうして朝鮮革命家の貴い闘争精神と気質が確固と継承されるようにしたこと

は、総括期間に収めた重要な成果の一つである。

自力で自衛的な核ミサイルの盾を構築し、人々が生のあらゆる喜びを感じながら生きるこの国には、このような成果が非常に多い。